

議第39号

京都市体育館条例の一部を改正する条例の制定について

京都市体育館条例の一部を改正する条例を次のように制定する。

平成26年 2 月14日提出

京 都 市 長 門 川 大 作

京都市体育館条例の一部を改正する条例

第 1 条 京都市体育館条例の一部を次のように改正する。

別表第 1 競技場の項を次のように改める。

競技場	全面使用	アマチュアスポーツ	入場料を徴収しない場合	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円							
				A	32,910	A	24,680			C	60,680	C	46,280	E	126,500	E	95,640					
														F	112,100	F	85,360					
				B	21,600	B	16,450			D	46,280	D	36,000	G	115,190	G	87,410					
												H	100,790	H	77,130							
		入場料を徴収する場合	A	106,970	A	81,250	106,970	81,250	C	191,310	C	150,170	E	405,250	E	312,670						
													F	361,020	F	277,700						
			B	73,020	B	56,570									D	147,080	D	115,200	G	371,300	G	287,990
						H							327,070	H	253,020							
	その他	入場料を徴収しない場合	A	354,850	A	272,570	354,850	272,570	C	643,880	C	499,880	E	1,353,580	E	1,045,020						
													F	1,200,320	F	926,740						
			B	244,800	B	190,280									D	490,620	D	381,600	G	1,243,530	G	962,730
													H	1,090,270	H	844,450						
		入場料を徴収する場合	A	472,110	A	381,600	472,110	381,600	C	901,020	C	701,480	E	1,845,240	E	1,464,680						
													F	1,631,300	F	1,298,050						
			B	343,540	B	272,570									D	687,080	D	534,850	G	1,716,670	G	1,355,650
						H							1,502,730	H	1,189,020							
部分使用（3分の1面 1時間につき）				4,110	3,600	4,110	3,600	5,960	4,730													

別表第1備考5中「額と」を「額（当該金額に10円未満の端数があるときは、これを切り上げた額）と」に改め、同備考6中「とする」の右に「。この場合において、当該金額に10円未満の端数があるときは、これを切り上げる」を加える。

別表第2備考以外の部分中

「

9,200 ^円	6,900 ^円	14,000 ^円	10,000 ^円
30,000	24,000	44,000	35,000
104,000	79,000	148,000	115,000
140,000	113,000	208,000	162,000

を」

「

9,460 ^円	7,090 ^円	14,400 ^円	10,280 ^円
30,850	24,680	45,250	36,000
106,970	81,250	152,220	118,280
144,000	116,220	213,940	166,620

に改める。」

第2条 京都市体育館条例の一部を次のように改正する。

第5条の見出し中「使用」を「利用」に改め、同条中「使用しよう」を「利用しよう」に改める。

第6条の見出しを「(利用制限)」に改め、同条各号列記以外の部分中「使用」を「利用」に改め、同条第1号中「使用者」を「利用者」に改める。

第7条の見出しを「(利用料金等)」に改め、同条第1項中「使用の」を「利用の」に、「使用者」を「利用者」に、「別表第1に掲げる使用料を納入しなければ」を「指定管理者に対し、その利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を支払わなければ」に改め、同条第3項を削り、同条

第2項中「使用時間」を「利用時間」に、「使用する」を「利用する」に、「使用料」を「利用料金」に、「とおり」を「額の範囲内において、指定管理者が市長の承認を得て定めるもの」に改め、同項を同条第3項とし、同条第1項の次に次の1項を加える。

2 利用料金は、別表第1に掲げる額の範囲内において、指定管理者が市長の承認を得て定めるものとする。

第7条第4項中「使用者」を「利用者」に、「使用したときは」を「利用したときは、指定管理者に対し」に、「納入しなければ」を「支払わなければ」に改める。

第8条の見出し中「使用料」を「利用料金」に改め、同条本文中「既納の使用料」を「既に支払われた利用料金」に改める。

第9条の見出し中「使用料」を「利用料金」に改め、同条中「市長は、」を「指定管理者は、市長が」に、「使用料」を「利用料金」に改める。

第10条第1項中「使用者は、使用しよう」を「利用者は、利用しよう」に改め、同条第2項中「使用者」を「利用者」に改める。

第11条中「使用者」を「利用者」に改める。

第12条中「使用者」を「利用者」に、「使用を」を「利用を」に、「使用の」を「利用の」に改める。

別表第1備考以外の部分中「使用料」を「利用料金」に、「全面使用」を「全面利用」に、「部分使用」を「部分利用」に改め、同表備考2中「使用者」を「利用者」に改め、同備考3中「使用する」を「利用する」に改め、同備考4中「使用した」を「利用した」に改め、同備考5中「使用者」を「利用者」に、「使用料」を「利用料金の上限額」に、「使用する」を「利用する」に改め、同備考6中「使用料」を「利用料金の上限額」に改め、同備考7中「使用時間」を「利用時間」に、「使用料は」を「利用料金の上限額は」に、「使用料との」を「額との」に改める。

別表第2備考以外の部分中「使用料」を「利用料金」に、「全面使用」

を「全面利用」に改め、同表備考2中「使用者」を「利用者」に改め、同備考3中「使用する」を「利用する」に改める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例中第1条、次項及び附則第3項の規定は平成26年4月1日から、第2条の規定は平成27年4月1日から施行する。

(準備行為)

- 2 京都市体育館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）の承認の申請その他地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者に利用料金を収受させるために必要な準備行為は、第2条の規定の施行前においても行うことができる。

(適用区分)

- 3 第1条の規定による改正後の京都市体育館条例の規定は、同条の規定の施行の日以後の使用に係る使用料について適用し、同日前の使用に係る使用料については、なお従前の例による。

提案理由

消費税法及び地方税法の一部改正に伴い使用料の適正化を図るとともに、京都市体育館の利用に係る料金を指定管理者に収受させるために必要な事項を定める必要があるので提案する。